

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成22年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	山梨県立介護実習普及センター	所管課	福祉保健・長寿社会課
所在地	甲府市北新1丁目2番12号	設置年月日 (改築年月日等)	平成9年4月1日
管理方式	指定管理者(社会福祉法人山梨県社会福祉協議会、平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立介護実習普及センター設置及び管理条例		
設置目的	(1)最新の介護機器の展示等を通じて、県民に介護に関する情報を提供すること (2)主催事業の実施を通じて、介護知識・技術の習得の機会を提供すること (3)介護における相談の機会を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	山梨県福祉プラザ1階 (447.30㎡) 福祉用具展示室(160.05㎡)、介護実習室(142.60㎡)、事務室(29.58㎡) 調理実習室(68.75㎡)、相談室1(13.20㎡)、相談室2(13.12㎡)、倉庫(20.00㎡)		
主な業務内容	(1)高齢者の介護に関する講座及び研修の実施に関する業務 (2)高齢者の介護に関する相談及び情報提供に関する業務 (3)高齢者の介護用機器展示に関する業務 (4)施設及び施設器具の維持保全に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	
-------------------	--

3. 利用状況

単位:人、%

		平成(20)年度	平成(21)年度	平成22年度	平成(23)年度 (目標値)
利用者数	利用者数	7,359	8,596	9,842	
	利用者数合計	7,359	8,596	9,842	
	目標値	8,300	8,820	9,261	9,724
	目標値設定の考え方	過去の入場者平均は、7,380人 +備品など利用者約1,000人	平成20年度の利用想定人数を8,400人として、 5%アップを目標	対前年比の5% のアップ	対前年比の5%の アップ
	対(n-2)年度比	100.0%	116.8%	133.7%	132.1%
稼働率					

4. 収支状況

単位:円、%

		平成(21)年度	平成22年度 (計画値)	平成22年度 (実績値)	平成(23)年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	34,577,844	34,748,651	34,748,651	34,917,645
	その他	51,000	60,000	27,000	
	収入合計(A)	34,628,844	34,808,651	34,775,651	34,917,645
支出	人件費	17,590,530	20,239,910	17,768,910	20,400,856
	県への納付金				
	管理運営費	14,977,250	14,568,741	15,587,301	14,516,789
	(うち外部委託費)(B)				
	支出合計(C)	32,567,780	34,808,651	33,356,211	34,917,645
収支差額(A-C)		2,061,064	0	1,419,440	0
外部委託比率(B÷C)		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
利用者一人当りの経費		4,023	3,920	3,531	3,591

※直営の年度は、県の収支を記入し、指定管理者施設の年度は、指定管理者の収支を記入する。
 ※利用者1人当りの経費の算定式は、直営(H〇～〇年):(支出-収入)÷利用者数、指定管理者(H〇～):指定管理者委託料÷利用者数。

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成22年5月～平成23年3月 実施方法: ①テーマ別介護講座受講に関するアンケート ②認知症サポーター養成講座受講に関するアンケート ③介護職員研修受講に関するアンケート ④展示室利用に関するアンケート 回答数:①364人②488人③445人④79人
-------	---

単位:%

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
調査項目	大変参考になった	参考になった	やや期待はずれ	期待はずれ
①講座の評価(講義)	68.0%	30.3%	1.4%	0.3%
①講座の評価(実技)	81.5%	17.5%	1.0%	0.0%
②講座の評価(講義)	47.3%	50.2%	2.5%	0.0%
③講座の評価	68.4%	30.7%	0.9%	0.0%
④利用しての感想	93.7%	5.1%	0.0%	1.2%
各項目の平均	71.8%	26.8%	1.2%	0.3%

利用者の意見	(講座)・大変貴重な体験ができた。・介護について考えるいいきっかけになった。・お年寄りに対して理解を深めようと思った。・介護の必要性を実感した。・もう少しレベルアップした講座を聴きたい等 (展示室)・福祉用具が多種類あり驚いた。・実際に見て、触れることができ、とても良かった。・分かりやすく説明していただき良かった。・障害のレベルによって用具がしっかり揃っていた。等
利用者の意見への対応	・アンケートの集計結果や意見等を見る限りでは、「大変参考になった」「満足した」という意見が大半を占めており、満足度の高さを感しているが、今後も、さらに充実した内容の講座や展示室づくりに努めていきたい。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び機器のメンテナンスや修繕は適切に行った。また、照明の消灯や用紙の節約など環境に配慮した運営を行った。 防災に留意し、展示室・講座において、事故やケガはなく安全な管理を行った。 	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。
運営業務	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への関心が高いためか、認知症サポーター養成講座の臨時開催が大幅に増えたが、入門介護講座等の一般向けの講座受講者が少ない状況だったので、周知方法や内容について検討し受講者増に努めたい。 相談業務については専門職員の丁寧でわかりやすい対応で、評価も高い。 	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。定員に届かない講座もあるため、講座内容を検討し受講者のニーズに合わせた質の高いサービスの提供のため努力されたい。
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> 出張講座やリクエスト講座を積極的に実施した結果、受講者数がアップし実績を上げることができた。 学校や地域単位で高齢者疑似体験セットを用いたイベントや授業が多く、備品の利用者が増えた。 	計画どおり適正に実施されている。
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> 利用者数は、前年度に比べ14%増加した。特に講座受講者については、臨時や出張の講座を積極的に受け入れたため、個人、団体とも増加した。 	出張講座や認知症サポーター養成講座など臨時講座を受講者の要望に合わせて、きめ細かく対応することにより、利用実績が大幅に増加した。
収支状況	<ul style="list-style-type: none"> 予算内で仕様書のとおり運営し、事業も計画どおり実施することができた。 	22年度の利用者1人当たりの経費は3,531円で前年度より492円下回り、経費節約に努めていることは評価できる。今後も一層の経費節減に努めていただきたい。
利用者満足度	<ul style="list-style-type: none"> 講座等のアンケート結果を見ても、センター利用者の評価や満足度は高かったと考えている。 23年度も利用者のニーズに添った事業運営に努めたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「大変良かった」、「満足した」という意見が大半を占めている。 今後も利用者のニーズに沿った各種事業を進め、親切・丁寧な対応に努めていただきたい。
運営目標の達成状況	利用者のニーズにきめ細かく対応することにより、利用者数が前年度に比べ14.5%増加し目標値を達成した。	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	施設管理・運営業務・自主事業等について、条例、協定及び提案等に基づき概ね適正に履行した。 利用実績は前年度より14.5%増加し、目標値を達成した。 各種講座については、定員を大幅に上回る実績があったが、個々の事業で見ると定員を下回っている事業もあった。今後は利用者のニーズを適格に把握し、講座内容、実施時期、周知方法等を工夫する中で利用者の増加に努めていただきたい。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	講座受講者、展示来所者の数は前年度を大きく上回り、目標値を達成することができたが、定員に達しない講座もあるので、今後は内容の検討や周知方法の工夫も考えていきたい。 また、夜間講座や土日講座等も要請があれば柔軟に対応していきたい。 展示室については、定期的に模様替えを行う等して、より利用しやすく、魅力ある展示室づくりに努めたい。	

7. 管理体制(組織図)

